

しっかりと支えてくれる「人」がいます。文化の森ボランティアは現在150人。ほかにも市民の皆さんがさまざまな関わりを持っています。

さて、美濃加茂市は、川のほとりのまちです。しかし、以前ほど「川」と共に暮らすことは無くなりました。そこで、展示ガイドや伝承料理の会の皆さんを中心に市民の「川の思い出」をまとめるための調査やイベントを2010年に企画しました。

その結果、「小学校高学年になると、木曽川を泳いで渡った」などといった、この地域ならではの豊かな思い出が寄せられました。その成果を展覧会にして現在も紹介しています。また、「川を味わう料理」講座として、メニューを復元し、今年も食します(左記講座・イベント参照)。

文化の森は見学するばかりではない、何かを「発見」し、一緒に「活動」できる博物館です。